

令和6年度

幼保小中の連携状況について（報告）

◇中学校ブロック内の取組について	1～11
◇中学校ブロック内の交流事業等について	12～32

ブロック名	ブロック 内の取組	ページ	交流事業
第一中学校区	1	・	12-13
第二中学校区	2	・	14
第三中学校区	3	・	15-16
第四中学校区	4	・	17-18
第五中学校区	5	・	19-20
塩田中学校区	6	・	21-22
第六中学校区	7	・	23-24
丸子中学校区	8	・	25-26
丸子北中学校区	9	・	27-28
真田中・菅平中学校区	10	・	29-31
依田窪南部中学校区	11	・	32



上田市教育委員会
上田市健康こども未来部

令和6年度ブロック内の取組について

1 概要

ブロック名		第一中区		構成園校	第一中学校、神川小学校、東小学校、東部保育園、神川保育園、国分保育園、常田保育園、聖マリア幼稚園、大屋幼稚園、上田いずみ園	
役員	6年度	会長	東小学校		副会長	常田保育園
	7年度	会長	第一中学校		副会長	聖マリア幼稚園

2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	(1)明るいあいさつが自分から進んで出来る園児児童生徒を目指す。 (2)東小・神川小・第一中は、第一中の中間・期末テスト前1週間(年5回)「メディアコントロールウィーク」として設定し、ゲームやネットのスイッチオフを目指す。 (3)幼保小中共通の学習及び集団生活の土台をつくる。 (4)幼保小及び小中の接続・連携のための情報交換を積極的に行っていく。	・幼保小中での連携があることで、メディアコントロールについて時期を揃えて取り組み、連携の意義を感じる。 ・園長・校長がつながることで、一人の子どもを園・学校、そして地域の大人が支援し、育てていくのだと再確認することに繋がり、改めて大切な連携だと認識している。	◎
取組	(1)あいさつ運動の推進 ・一中区幼保小中園長校長会で作成した「あいさつ旗」を、各校各園の門や昇降口に立てて、引き続き挨拶への意識向上を図る。→必要に応じて旗を作成する ・挨拶が行き交う気持ちよさを子どもたちが感じられるように、各園校で取り組んでいく。→ ※児童会生徒会のあいさつ運動 ・家庭通知等の紙面にも挨拶の大切さについて掲載し、保護者に対して各園や各校での取組の理解と啓発を図る。	・短い期間で培われていくものではないので、幼保小中で連携を取り、子どもたちに意識づけをしていく必要性を感じる。 ・「挨拶のできる子ども」を園目標に掲げている。 こちらから声を掛けるが、自ら挨拶は少なく、出来る子には改めて挨拶をしている。 ・年度初めに立てた共通の目標は8割達成している。引き続き第一中区全体で 挨拶運動・メディアコントロールWeekを行い 園児児童生徒の健全な育成に繋がればと思う。 ・幼保小中の連携を大事にすることで、メディアコントロールやあいさつについて、共通の目標に向かって取り組むことができています。 ・地域で1つの目標を持って取り組む意義は大きいと思うので、引き続き取り組んでいきたい。 ・各園校で連携しながら取り組むことができた。継続的・長期的に意識しながら進めていけて良いと思う。	○
	(2)メディアコントロールデーの推進 ・小中学校のメディアコントロールデーについて、幼保園も予定を合わせて一斉に取り組むことで意気込みが伝わり、効果が上がるので、できる限り統一した時期(中学校の定期テスト前など)でメディアコントロールデーを設定し、ゲームやテレビのスイッチを切って、親子遊びや読書、手伝い、友だちとの外遊び、学習をする時間として推奨する。 ・小中学校では、携帯端末・ネットトラブルの防止について学習や啓発に取り組む。 → ※1:小中学校で実施した「スマホ・タブレット・ゲーム機等に関するアンケート」の結果 (各校及び一中区全体)の分析及び共有 ※2:PTAと共に研修会を実施予定(東小 11月12日PTA講演会)各校・園にもチラシの配付 ・小中学校では、臨時休業中メディア中心の生活になる児童生徒が多くいた。メディア活用のよさを踏まえつつ、メディアに振り回されない生活を取り戻すように努める。系統立てた指導を継続していく。 ・メディアから離れるきっかけとして、それ以外の楽しいことを日頃から子どもと考えて提案し合う。	・小まめに保護者に伝えることと、職員も意識をもって子どもたちに話をすることができた。改めて地域で行っていくことの大切さを感じる。 ・園だよりなどで具体的に「スイッチを切って何をするか」伝えるが、メディアの誘惑になかなか勝てないようだ。 ・ゲーム依存、スマホ依存、テレビ依存は いけないと言う事は頭ではわかっているがやめずらい。「幼保小中連携で行っていることにとても意義があり今後も続けて下さい」という意見を多数頂いた。 ・毎年、PTAの活動(講演会)にもテーマとして取り上げられており、保護者と共にメディアコントロールについて考えることができた。引き続き、取り組んでいきたい。 ・ノーメディアチャレンジカードは、毎月、最初の木曜日に、各家庭で取り組んできた。それぞれ、工夫した取り組みが見られた。 今年度から、ノーメディアデーのお知らせは、保護者アプリ(コドモン)でタイムリーに伝えるようにした。	◎
	(3)子どもの育ちに関わる意見交換 ・授業参観・保育参観を行い実際の子どもの姿から学び合う。 ・幼保園から小学校、中学校へと成長する場を移行していく中で、各園校が意識していく学びや集団生活の土台について意見交換する。 ・特性のある子どもを中心にした支援体制の共有。 ・幼保小中共通のUDの構築。	・一中区会の会場で参観させて頂く機会があるので、実際に参観したうえで取り組みなどをお聞きすることができ情報交換もしやすいのかと思った。 ・意見交換は子どもの育ちに必要なことなので続けて欲しい。 ・実際に子どもの姿を参観させていただき、意見交換をする中で、支援を必要とする子どもなどの情報共有ができています。 ・メディアに関する講演会等で啓発活動を行っているが、多くの方々に正しい知識を持っていただくためには、どのようにしたら良いのか考えていきたい。 ・意見交換をしながら、それぞれの現状を知ることができた。園・小接続カリキュラムに基づいた「学びの改革」の実践に向け、連携し取り組んでいきたい。	○
	(4)幼保小中での連携 ・特色ある取組を紹介し学び合う。 ・交流事業について相談し合う。 ・アフターコロナへの対応について情報共有し合い、連携を図る。	・同じ地域の中での情報交換は参考になりありがたいと思う。 ・年間を通して、小学1年生と年長児との交流が、小学校と園とで再開できてよかった。 ・民生委員の方と意見交換をしながら、お力添えいただいたおかげで、地域の方との交流や繋がりが増えている。	○

※評価 ◎:目標を上回る達成 ○:目標どおり △:目標未達成の部分あり

3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	6月25日 (火)	真田中央 公民館	・今年度の活動テーマの確認 ・今年度の取組計画の立案 ・各園・校の様子、情報交換
2	10月24日 (木)	聖マリア 幼稚園	・参観及び園児・児童・生徒の情報交換 ・各園・各校における学びの連携について ・幼保小中の連携を更に深めるための活動や交流にかかわる情報交換
3	1月29日 (水)	東小学校	・参観及び園児・児童・生徒の情報交換 ・各園・各校における学びの連携について ・幼保小中の連携を更に深めるための活動や交流にかかわる情報交換 ・今年度の反省と次年度への課題と要望 ・次年度の計画

令和6年度ブロック内の取組について

1 概要

ブロック名		第二中学校区		構成園校	第二中/清明小/塩尻小/南部保育園/梅花幼稚園/聖ミカエル保育園/あそびの森あきわ/塩尻保育園/キッズうえだみなみ	
役員	令和6年度	会長	清明小学校長 竹内 仁一		副会長	第二中学校長 加藤 浩
	令和7年度	会長	第二中学校長 加藤 浩		副会長	塩尻小学校長 水沢 博昭

2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	(1)「挨拶」「返事」「靴揃え」を工夫して継続指導し、豊かな心を育てる。 (2)「メディアコントロール週間・子ども中心の日」を設け、情報化社会にあって、メディアの有効な活用と自己制御する力を高める。 (3)「個が生きる・個を生かす」支援のあり方を、各学校・園において、工夫・研究する。 (4)幼保小、小中の接続がスムーズにいくよう、交流活動や体験活動を行い、幼保小中の情報共有を密に行う。	(1)毎日の日常的な行動のため、習慣化し気持ちよく生活ができるように雰囲気をつくった。褒めて良さを感じられるようにし、継続的な取り組みとしたい。 (2)取り組みの仕方は、各家庭によって違いはあるが、子どもたちにとっては良い機会になっている。また、保護者にとっても日常生活を振り返る機会となり、子育ての有意義な時間になっている。 (3)(4)入学に向けて情報共有を行い、その中でどんな支援が必要かを検討して、日常の取り組みに反映することができている。今後も、幼保小中での連携を大事に取り組みを進めたい。	◎
取組	(1)「挨拶・返事・靴揃え」 ・各学校・園の実状により年間を通して指導するとともに、地域・家庭へも折に触れ発信する。	(幼保)日常的なことだが、習慣化することが肝要。親子で挨拶はもちろん、職員も率先して行う事で、園児からの挨拶も増えてきている。 (小)校内では挨拶できるが、外ではなかなか難しい面がある。地域の大人同士が挨拶する環境づくりも必要との意見もいただいた。連携を強化していきたい。 (中)挨拶、靴揃えについて、生徒会で大切に、柱となる活動に据えて取り組んでいる。取り組みの成果を家庭、地域の発信することができた。	◎
	(2)「メディアコントロール週間・子ども中心の日」 ・第二中学校の期末テストの期間に合わせて実施している。今年度は、6月下旬と11月中旬に実施した。	(幼保小中)週間として位置づけることで、親子の会話がはずんだり、子どもの成長に気づける場面が多かった。無理のない時間帯で各家庭のペースで取り組んでいる様子がうかがわれ、良い機会になっているものと考えられる。また、取り組みの様子を発信することで、次回の取り組みに取り入れてくださる家庭もあり、実施と振り返りの効果的な活用ができているものとする。	◎
	(3)多様な個の支援のあり方を視点に、互いの学校や園の活動・授業を参観し合い、意見交換をしながら、個を生かした学力・生活力の向上を図る。(授業・活動参観4回)	(幼保小中)それぞれの発達段階に合わせた支援方法を実際に参観することにより、個を大切にした支援のあり方を共有することができ、次への課題を見つける機会となった。大変学ぶ事が多く、参観していただき、感想、ご意見から、自分たちの支援を見つめ直し、省みる機会となり、深い学びに繋がる。	◎
	(4)各校で交流活動・体験学習等を計画・実施する。また日頃の情報交換や意見交換を積極的に行い、園児や児童・生徒の理解を深める。幼保小中の接続のあり方の検討。	(幼保小中)小学校への接続として、心配な子どもが増えているため、移行支援会議等で情報共有を密にし、スムーズな接続を心がけたい。 (幼保)保護者説明会と同日に交流を設けていただく事が有効。(市内全小学校で実施できないか。)カリキュラムの共同研究や職員研修が義務づけられたので実施したい。	○

※評価 ◎:目標を上回る達成 ○:目標どおり △:目標未達成の部分あり

3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	5月15日	清明小学校	○清明小学校の授業参観・感想 ○各校の取り組みの重点等の共有 ○幼保小中の連携(共通の取組・連携の具体的な計画等)について協議 第2回の確認 ○各校・園の情報交換
2	7月10日	南部保育園	○南部保育園の授業参観・感想 ○幼保小中の連携について ○「子ども中心の日」(第1回メディアコントロール週間)の実施状況確認 第3回の確認 ○各校・園の情報交換
3	11月11日	キッズ上田南	○認定こども園 キッズうえだみなみの授業参観・感想 ○各校・園の情報交換 ○幼保小中の接続のあり方 第4回の確認
4	2月4日	第二中学校	○第二中学校の授業参観・感想 ○本年度の反省及び令和7年度年間計画について ○各校・園の情報交換、来年度の取り組みについて

令和6年度ブロック内の取組について

1 概要

ブロック名		第三中学校区		構成園校	三中 北小 西小 上田幼 認かんぎおん 甘露保 たちばな幼 北保 認芙蓉園 蓮の音こども園		
役員	令和6年度	会長	北小学校長		副会長	西小学校長	
	令和7年度	会長	西小学校長		副会長	第三中学校長	

2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通 目標	「コロナ収束後における子どもの育ちで大切にしたいこと」 ①実体験を通しての育ちを大切にしてい ・体験学習実施における子どもたちの育ちについての情報交換 ②運動不足による体力低下をくい止める ・体力向上に関する取り組みについての情報交換	各校、各園ともに「子どもの主体性」を重視して、様々な取り組みを行っていることが確認できた。引き続き、各校の取り組みなどを情報交換していきたい。	○
取組	①実体験を通しての育ちを大切にしてい コロナが終息から2年がたち、様々な活動が新しい形で実施されている。コロナ前と児童生徒および家庭の生活スタイルがどのように変化し、どのようなことが子どもの育ちに影響をきたしているか課題を洗い出し、改善に向けてアクションを起こした。 ＜課題＞ ＜活動＞ ○小中学校での職場体験学習の実施(再開) ○総合的な学習の時間に「ふるさと学習」「地域発見学習」の実施。 ○児童と園児の遊びを通じた交流会の実施 ○遊びを中心とした園行事の実施。 ○小中学校における行事の再開、運動会・音楽会・文化祭等による体力増進や交流機会の促進	○各園・各校で実態を考慮した活動をした。 ・職場体験学習を受け入れてもらえるところが多く、多様な他者と関わる経験ができ、貴重な体験を積ませていただいた。 ・異年齢保育やペア学級などの交流を通して、励まされ、支えられる経験を重ねることができた。 ・時間や場所の枠にとらわれず、園児のやりたい遊びを支援している。保育士は、その子の「遊び」の姿を捉え、どんな力に繋がっていくか等の見通しをもつ研修を重ねている。 ・小学生と年長児の交流会の機会をもった。一園だけでなく、今後さらに複数の園と小学生との交流を実施していきたい。 ・中学生と小学生との交流は年3回あり、文化祭の見学では、英語のスピーチ等中学生の姿にあこがれをもつ児童の姿が見られた。 ・＜課題＞ ・「自由にやっていいよ」に苦手を感じる子どもたちの姿(特に絵を描く場面で) ・感覚のバランスについて ヘルメットの紐を噛む子がいる等感覚に過敏性がある子が多い。	○
	②運動不足による体力低下をくい止めるために ・日課に全員で体を動かす体操の時間を組み込む ・自由に遊べる時間を確保する ・外遊びを奨励する ・運動固有の楽しさ(特性)に触れながら、夢中になって身体を動かす体育の授業を工夫する ・部活動については効率のよい練習と技能向上。	○各園各校ともに様々な活動を通して体力増進ができた。 ・朝の開錠の時刻を10分早めたことで、朝、校庭でサッカーをして遊ぶことを楽しみにしている児童の姿がある。 ・掃除の時間を減らし、授業までの30分 間を自由に遊べる時間として確保したことで、外で遊ぶ児童が増えた。 ・おさんぽキッズの実施。子どもたちが行きたいところを決めて散歩に行く。その後行ったところを地図に貼っていつている。自分たちがやってみたいことを実現していくことが体力の向上にもつながっている。 ・各自目標をもち「鉄棒・縄跳び・ボール遊び」の実施。年間を通して「手洗い・うがい・早寝・早起き・朝ごはん・テレビを消す」を慣行していくことで体力の向上につながっている。。 ・各種大会やコンクール出場の機会が増え、十分な成績結果を得た。 ＜課題＞コロナ期間、ずっと家にいた子どもたちであり、体を動かすことが好きな子とそうでない子の差がある。中学生は運動部に入る生徒の数が減少している。	○

※評価 ◎: 目標を上回る達成 ○: 目標どおり △: 目標未達成の部分あり

3 会議開催状況

回	開催日	会 場	主な議題
1	6月6日	北小学校	・授業参観と感想 ・各園各校のグランドデザインから、今年の運営の重点について ・幼保小中連携の重点について 課題とアクション
2	11月18日	西小学校	・授業参観と感想 ・6月以降の各園各校の子どもたちの様子 ・連携の重点への取り組み状況についての情報交換 ・特別な支援を要する園児・児童生徒の情報交換
3	2月4日	甘露保育園	・保育参観と感想 ・移行支援会議の推進にかかわって ・令和6年度 幼保小中連携の取り組みについての反省・来年度の連携の重点について ・令和7年度の開催日の決定・年間行事の日程調整

令和6年度ブロック内の取組について

1 概要

ブロック名		第四中学校区		構成園校	四中／城下小／南小／みのり保／城下保／下之条保／上田南幼／三好町保	
役員	6年度	会長	南小学校長		副会長	城下保育園長・第四中学校長
	7年度	会長	第四中学校長		副会長	みのり保育園長・城下小学校長

2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	幼保小中の接続をどうするか、幼保小中で連携して育てていきたい力について、参観や話し合いを通して、現状を見直していく。 ①基本的習慣・生活リズムの確立における連携 ②支援を必要とする子どもについての連携 ③幼保小中のスムーズな移行のための取組	①各校、各園ともに「子どもの主体性」を重視していることから、共通の目標として取り組むことが確認できた。引き続き、各校の取り組みなどを情報交換していきたい。②アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムの移行について情報交換できた。③情報を確実に引き継ぐこと、対応はできるだけ小さい段階で行うこと。	○
取組	(1)参観を通して先生方の子どもたちとの関わりから学ぶ。 城下小学校の授業参観(第2回) 下之条保育園の授業参観(第3回)	①授業参観で、子どもたちの学ぶ姿勢、教職員・保育者の動きや言葉がけ、教室・保育環境などを、自園や自校の様子と比較しながら参観することで、自園や自校のあり方を振り返ることができた。 ②所属長の話から、園や学校で大切にしていること、子どもの実態、指導や支援の困難点や工夫等について学ぶことができ、自園、自校の運営に生かすことができた。 ③発達段階に応じて大事にしていることがわかり、確実に繋げていくこと重要性を改めて確認できた。 ④本年度は、保育園、小学校の両校園の参観ができた。幼保小中連携のあり様を子どもの姿や学びの様子から考えることができた。	○
	(2)幼保小中の接続という点からの情報交換と話し合い	①幼保小中連携、今年度は特にアプローチカリキュラムからスタートカリキュラムへの連携について考えることができた。遊びを中心とした学びをどのように見つめ、何を見出し小学校の学びにつないでいくか、より考えていくことを確認した。 ②教育環境に係り、子どもの発達段階に合わせた教材のあり方、教材の持つ可能性等について、議論を深めることができた。また、小学校、中学校において、不適応不登校傾向にある児童生徒が増えていることから、幼保における子どもの様子をうかがった。その中で、子どもたちが安心して生活を送れるよう、幼保小中の各段階で、子どもの様子や発達障がいの子どもの対応について、丁寧に十分な引き継ぎをいくことを確認した。	○

※評価 ◎: 目標を上回る達成 ○: 目標どおり △: 目標未達成の部分あり

3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	6/25(火)	真田中央公民館	①自己紹介 ②年間計画立案 ③情報交換
2	10/22(火)	南小	①授業参観と参観後の感想 ②幼保小中連携に関わる情報交換 アプローチカリキュラムからスタートカリキュラムへの連携について
3	1/28(火)	城下保育園	①授業参観と参観後の感想 ②幼保小中連携に関わる情報交換 発達段階に応じた教育環境や教材研究のあり方、子どもたちが安心して生活を送るための支援のあり方について。 ③移行支援会議等の情報の引き継ぎについて ④1年間の反省と次年度の計画

令和6年度ブロック内の取組について

1 概要

ブロック名		第五中学校区		構成園校	第五中 豊殿小 神科小 あゆみ保 上田北幼 神科第一保 神科第二保 豊殿保 認定こども園にしおか	
役員	6年度	会長	豊殿小学校		副会長	豊殿保育園
	7年度	会長	神科小学校		副会長	認定こども園にしおか

2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通 目標	《キャリア教育を視点においた五中区の取り組み》 「基本的な生活と心身の健康」 (1)基本的な生活習慣の見直しと確立 (2)特別な支援の必要な子ども理解 (3)連携・交流事業	・各園、学校で基本的な生活習慣の見直しや確立につながる取り組みを工夫して行ってきた。メディアの使用についても講演会などの取り組みを行っているが、さらに課題として今後も取り組む必要性がある。 ・交流事業が実施され、関わりの中で学ぶことがたくさんあった。 ・支援が必要な子どもの理解を含め、今後も幼保小中の連携を大切にしていきたい。	◎
	(1)基本的な生活習慣の見直しと確立 ・運動遊びや体づくり運動の積極的な取り入れ ・誰にでも気持ちのよいあいさつができるような声かけ ・メディアコントロールと睡眠時間の確保 ・家庭への早寝、早起き、朝ご飯の呼びかけ	・各園、各校にて、体づくりを大切に考え、運動遊びや外遊びを充実させたり、講師を招いての授業や活動等行ったりした。 ・今年度も神科小、豊殿小の6年生が五中 畠山校長先生を講師にメディアコントロールの講演会を実施できた。来入児保護者会でも講演会をしていただき、保護者にもメディアコントロールの大切や方法を教えていただいた。 ・気持ちのよいあいさつができる子どもたちになるよう、各園、各校での取り組みがされた。大人がお手本を示していくことを確認。	◎
	(2)特別な支援の必要な子ども理解 ・園児、児童、生徒の情報交換 ・園から小、小から中への参観 ・移行支援会議	・幼保小連絡会や移行支援会議で、配慮が必要な児童生徒の支援の在り方について、情報交換を細かく行っている。今年度は、学校見学や移行支援会議をより早い段階から行うことができた。 ・今後も保護者の情報も含めて、連携を図っていきたい。	◎
取組	(3)連携・交流事業の充実 ・保小連携による小1プロブレム解消 ・スタートカリキュラムの実施(小学校) ・小6年生の中学校文化祭見学や説明会への参加等の取り組みによる中1ギャップの解消 ・保中交流 ・五中区便りの配布	・小1プロブレムの解消に向けてのアプローチカリキュラムとして、お昼寝の時間を短くしたり、お昼寝をしない日を設けるなど実施。また、小学校入学から約1か月は、スタートカリキュラムを実施。 ・中学校説明会は、1年生の生徒が中心になり実施。中学入学への期待が持てた。 ・五中区便りにより、各園、各校での取り組みが紹介され、家庭にも知ってもらう機会となった。	○

※評価 ◎: 目標を上回る達成 ○: 目標どおり △: 目標未達成の部分あり

3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	5月9日	豊殿小	・各園・各校での今までの取組の成果と課題について ・本年度の活動方針の決定 ・年間行事やその他の情報交換
2	6月25日	上田市校長会 と合同開催	・今年度の活動テーマの確認 ・各園・各校の様子、情報交換
3	10月22日	認定こども園 にしおか	・参観の感想、各園・各校での今までの取組の成果と課題について ・特別な支援が必要な園児・児童・生徒について
4	2月4日	信学会上田 北幼稚園	・参観の感想、各園・各校の様子、情報交換 ・今年度の反省と次年度への課題と要望 ・次年度(令和7年度)の計画

令和6年度ブロック内の取組について

1 概要

ブロック名		塩田中学校区		構成園校	塩田中、中塩田小、塩田西小、東塩田小、上田女短附属幼、塩田中央保、塩田北保、西塩田保、東塩田保、おひさまクラブ幼稚園	
役員	令和6年度	会長	東塩田小学校長	北沢 敦	副会長	塩田中学校長 齋藤 毅
	令和7年度	会長	未定		副会長	未定

2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	(1) 幼保小中の職員・児童・生徒・園児の具体的連携の実施 (2) 園児・児童・生徒の理解と育ちの支援に関する情報交換 (3) 幼保小中に関わるキャリア教育についての情報交換	以下の取組の成果の通り	○
取組	(1) 幼保小中の職員・児童・生徒・園児の具体的連携の実施	○夏休み中等に、小学校職員が保育園に出向き、園生活を体験させていただき、園児の様子を知ったり、小学校のスタートカリキュラムに活かすことができた。 ○園児と児童の交流、来入児の体験入学等再開することができた。	○
	(2) 園児・児童・生徒の理解と育ちの支援に関する情報交換 ① 6月25日 園長・校長合同会議で情報交換と今後の計画立案 ② 10月22日 塩田中学校の参観と情報交換 ③ 1月29日 西塩田保育園の参観と情報交換 ④ 夏休み～2月 幼稚園・保育園へ小学校職員の参観 ⑤ 9月～2月 来入児で支援を要する園児の保護者との懇談や園児の体験入学 ⑥ 年間を通して小中での情報交換	○塩田中学校では生徒の様子を参観するとともに、今後の幼保小中連携、交流について意見交換を行った。また、小学校新入生スタートカリキュラムについて情報共有をした。 ○西塩田中央保育園では様々な活動の参観を行った。情報交換では、各校の取り組みを共有することができた。 ○支援を要する園児の円滑な入学に向けて、情報交換や体験を行うことができた。 ○集団活動についての現状を共有し、小学校新入生アプローチカリキュラムを各園と共有、意見交換した。	○
	(3) 「メディアコントロール週間」 ・塩田中学校の期末テストの期間に合わせて実施している。今年度は、5月、9月、2月に実施した。	○年間行事計画に位置付けられている。保護者へは無理のないようにと呼びかけている。継続してきている取り組みなので、保護者に浸透してきている。	○
	(4) 幼保小中に関わるキャリア教育についての情報交換 ・中学校生徒の幼保小での職業体験 ・小学生学級単位での園との交流	○職場体験や交流により、中学生のキャリア教育に生かすことができた。	○

※評価 ◎: 目標を上回る達成 ○: 目標どおり △: 目標未達成の部分あり

3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	6月25日	真田中央公民館	①本年度の年間計画の確認 ②情報交換
2	10月22日	塩田中学校	①授業と施設の参観をしての意見交換 ②来入児について個別の情報交換 ③幼保小中の連携上の課題の確認と改善方法の検討 ④キャリア教育について意見交換
3	1月29日	西塩田保育園	①保育と施設の参観をしての意見交換 ②来入児について個別の情報交換 ③幼保小中の連携の必要性和今後の予定 ④キャリア教育の取組について情報交換

令和6年度ブロック内の取組について

1 概要

ブロック名		第六中学校区		構成園校	第六中/川辺小/川西小/浦里小/日向幼稚園/川辺保/泉田保/浦里保/室賀保
役員	6年度	会長	浦里保育園		副会長
	7年度	会長	浦里小学校		副会長

2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	(1)あいさつ、返事、靴揃えのできる子どもを育てる。 (2)生活リズムや決まりよい生活習慣を身につけさせる。 (3)互いの園・校の情報交換交流活動が円滑になるように工夫し、園児、児童生徒の個の支援につながるようにする。	・各園校では挨拶を大切に考えているが、それだけに改善すべき課題と捉えている学校も複数ある。特に地域での挨拶には難しさを感じている。 ・授業や保育を参観することで相互理解が図れ、入学前、後の連携をスムーズに取ることが出来ている。	○
取組	1 幼保小中、それぞれの場での課題や悩みなどについて情報交換をし、参観等を通して具体的な取り組みについて共通理解をする。	・保育園が遊びを通して主体性を育もうとする保育を実践していることを、小中学校は参観した園の様子から改めて実感することができた。また子どもたちの声を聴き、思いを受け止め環境を整える事の重要性を学んだ。 ・児童の主体性に課題を感じている小学校があり、幼保小の接続について、担任レベルでの相互理解の必要性があることが確認された。	○
	2 個別支援が必要な子、家庭支援が必要な子への援助や連携のあり方について (1)参観や移行支援会議等を通して子どもの実態を把握し幼保小中の具体的な取り組みや支援方法について検討し共通理解する。 (2)保護者理解を得るために、個別参観を行い具体例を挙げた情報交換をし、保護者の支援や対応について検討する。	・連絡会をきっかけとして、幼保小間・小中間で必要な情報共有や相談の機会を設けることができた。 ・気になる状況がある園児・児童について、丁寧に移行支援会議を実施することができた。人数が多くなっているが、分かりやすい資料を用意していただき、効率よく実施していただくことができた。	○
	3 職員の交流 (1)職員が、保育園や小学校へ行って学校生活や保育体験をする中でお互いの職場の現状を理解し合う。 (2)発達段階の違いを、子どもの活動の実体験から学び合う。 ・就学前担当者が各園を訪問し、子どもの活動の様子や支援について情報を共有することで、入学に向けた準備ができる。	・就学前教育担当者が各園を訪問し、子どもの様子を把握することで移行支援をスムーズに行うことに繋がった。 ・移行支援会議をしたり、小学校から保育園へ来てもらったりして子どもたちの様子を見て頂けてよかった。直接見て頂いた事で様子が分かり入学後のスムーズな支援へとつながれるかと思う。	○

※評価 ◎:目標を上回る達成 ○:目標どおり △:目標未達成の部分あり

3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	9月12日 (木)	第六中学校	・授業参観の意見・感想 ・熱中症対策(スーパークールビズ) ・サポートルームについて ・第六中学校の現状と課題について ・アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムについて ・今年度の計画の確認
2	11月12日 (火)	日向幼稚園	・園児、施設の見学参観 ・幼保小中の接続について ・保育参観の感想と保育園の現状と課題 ・幼保小中の職員レベルの交流のあり方について
3	1月28日 (火)	浦里小	・授業参観の感想と浦里小学校の現状と課題 ・園児・児童生徒が抱える問題 ・今年度の反省と来年度への要望 ・移行支援会議について

令和6年度ブロック内の取組について

1 概要

ブロック名		丸子中学校区		構成園校	丸子中学校、丸子中央小学校 中丸子保育園、まるこ保育園	
役員	令和6年度	会長	丸子中学校 校長 小山 健史		副会長	丸子中央小学校 校長 吉澤 基
	令和7年度	会長	丸子中央小学校 校長		副会長	丸子中学校 校長

2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	(1) 授業や活動参観を通して、各発達段階における現状の把握や課題について情報交換を行う。 (2) 園・校内や家庭内での基本的な生活習慣の確立を図る。 (3) 発達障害のある園児児童生徒の情報共有を行い、よりよい支援方法を探り、接続について連携を図る。	○喫緊の課題として共通理解が持て、園児・児童・生徒の様子や生育歴・環境等から、その対応について話し合うことができた。 ○全回計画通り実施できた。	○
取組	(1) 共通目標(1)について ① 保育園児の活動参観から、発達段階における状況や課題を把握する。 ② 園から小学校、小学校から中学校への繋がりにおける課題や対応策を検討する。(1回目の園・2回目の小・3回目の中を通して) ③ 夏休み中に園へ小学校の職員が出向き、参観・体験・情報交換する。	○ 幼保小中における園や学校課題を共有し、中学校までの育ちについて、改善点を話し合うことができた。 ○ 幼保小中における園児・児童・生徒の発達段階的な様子や課題を連続して把握し、記録を生かしていきたい。 ○ 少子化に伴い、今後の保小、小中、園・学校間での交流や対応等について共有し、連携を図ることができた。	○
	(2) 共通目標(2)について ① 幼保小中が連携して「基本的な生活習慣の大切さ」や「家庭生活のあり方」のプリント内容を更に検討し、作成する。 ② 夏休み前に上記プリントを配布して、保護者へ啓発を行う。 ③ 「早寝、早起き、朝ご飯」の継続した呼び掛け。 ④ 来入児保護者会で、家庭生活のリズムの整えや基本的な生活ができるように依頼する。 ⑤ 「メディアコントロールの大切さ」について、保護者への啓発を行う。	○ 昨年度までの取組を継続して「メディアコントロール」について呼びかけをしていくことを共通理解した。 ・「ぐんぐん丸子っ子」に市教委で発行しているリーフレット(スマホ・ネットをかしこく安全に使うために)を載せ、ルール作りの大切さを呼びかけた。 ・年3回(7月、11月、2月)幼保小中連携して、メディアコントロール週間を統一して実施することは、家庭から好評を得ている。さらに取組みやすくなるための「がんばりカード」等の工夫を共有した。保護者への啓発をさらに工夫していきたい。	○
	(3) 共通目標(3)について ① 丸子中学校区の各園・学校の発達障害状況と対応策についての理解を図る。 ② 会合の度に指導主事先生や保健師さんにも同席していただき、発達障害の相談窓口等の指導をいただく。 ③ 支援が必要な児童や家庭について具体的な内容話し合い、各園・校で参考にする。	○ 各園・各学校とも発達障がいと思われる子どもたちの増加状況と対応策についての理解を図る事ができた。 ○ 参観から発達障がい等の理解を深め、指導や啓発の継続性の大切さを協議できた。 ○ 子どもへの支援や配慮について具体的に学ぶことができた。	○

※評価 ◎: 目標を上回る達成 ○: 目標どおり △: 目標未達成の部分あり

3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	7月10日 (水)	丸子中央 小学校	・丸子中央小学校の全学年の授業参観 ・発達障がいのある子どもや家庭への支援について ・新入生を迎えるに当たっての幼保小の連携について ・来入児の名簿の確認 ・メディアコントロール週間の確認 ・今後の予定
2	10月29日 (水)	まるこ 保育園	・中丸子保育園の活動参観 ・学校職員の園訪問・就学相談について ・メディアコントロール週間について ・各園・校の課題、健康面について
3	1月23日 (木)	丸子 中学校	・丸子中学校の授業参観 ・小中に発達障害のある児童の受け入れやその支援について ・アプローチ、スタートカリキュラムの検討 ・幼保小中を通しての連携について ・本年度の反省と課題、次年度への希望と予定

令和6年度ブロック内の取組について

1 概要

ブロック名		丸子北中学校区		構成園校	丸子北中／丸子北小／塩川小／依田保／長瀬保 ／塩川保／ちぐさ幼		
役員	6年度	会長	丸子北小学校	野澤重徳	副会長	長瀬保育園	金子百合子
	7年度	会長	塩川小学校		副会長	塩川保育園	

2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通 目標	(1)「思いやり」の芽を大事に育てよう (2)何事も「自分です」気持ちを持たせよう (3)発達段階に応じて、学習する習慣を身につけさせよう (4)心と心を伝え合う「あいさつ」でつながろう ※子どもの発達段階に即した指導の接続と連携をもとにして	以下の通り	○
取組	(1)人権同和教育の推進(各園、各校の計画による) ①中学校区人権同和教育研修会 ②幼保小中連携だより「よだがわ」の発行(11月)	・人権同和教育においては、幼保小中それぞれの計画により推進しているが、小中においては講話をお聞きしたり、授業公開・研究会を行ったりして、有意義な研修会が実施できている。授業公開・研究会については、幼保の先生方の参加も検討していきたい。 ・今年度の内容は「睡眠」に関するものとして家庭へ配布し、園や学校での取組への理解と協力を求めた。	○
	(2)「自分です」という主体性を高めるための取組	・各小中学校では、新規に入学してくる児童生徒に対して、児童生徒手作りの体験的な交流学習(体験学習・体験入学)を計画・実践している。新しい仲間を自分たちで迎えるという意識が醸成されている。 ・各園では、園児が「自分です」ことが少しずつ多くなるように、家庭の協力を得ながら支援し、成果が出てきている。	○
	(3)子どもの成長や学びの発達段階に即した指導の接続と連携	・連携会議で、保育・授業参観を通して園児・児童・生徒理解を図ると共に、アプローチカリキュラムやスタートカリキュラムを基に、指導の接続や連携のあり方について協議し、幼保小中で役立てることができている。 ・連携会議毎に、各校園の連携の状況や園児・児童・生徒の交流活動について情報交換を行ってきた。新たな取組を導入できる可能性が見えてきている。	○
	(4)あいさつ運動の実施(朝の時間)	・あいさつ運動は、コロナ禍を機に、各校での実施となり、児童会・生徒会役員や地域の方、PTAの方、地元企業の方が学校玄関や通学路に立ち、あいさつ運動を展開している。学校職員や校長も定期的に通学路に立ち、児童・生徒とあいさつを交わしている。その結果、気持ちのよいあいさつができる子どもたちが増えてきている。	○

※評価 ◎: 目標を上回る達成 ○: 目標どおり △: 目標未達成の部分あり

3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	6月25日	真田中央公民館	・自己紹介 ・中学校区ブロック会議の計画について ・今年度の取組(交流事業)について(昨年度の成果と課題から) ・「幼保小中連携だより」について ・第2回ブロック会議について
2	8月28日	依田保育園	・園の紹介・園児の様子 ・保育参観 ・参観の感想 ・1学期の取組についての情報交換 ・「幼保小中連携だより」について ・第3回ブロック会議について
3	10月23日	長瀬保育園	・園の紹介・園児の様子 ・授業参観 ・参観の感想 ・2学期の取組についての情報交換 ・「幼保小中連携だより」について ・アプローチカリキュラム／スタートカリキュラムについて ・第4回ブロック会議について
4	2月12日	塩川小学校	・学校の紹介・児童の様子 ・授業参観 ・参観の感想 ・今年度の取り組みについての反省 ・令和7年度連携会議の計画について ・各園・学校の行事予定(運動会・音楽会・文化祭・その他)

令和6年度ブロック内の取組について

1 概要

ブロック名		菅平中・真田中学校区		構成園校	真田中 / 本原小 / 長小 / 菅平小中 / 傍陽小 さなだ保 / いずみ幼 / すがだいら保 / そえひ保	
役員	6年度	会長	傍陽小学校 加藤 正興		副会長	さなだ保育園長 若林 香織
	7年度	会長	さなだ保育園長 若林 香織		副会長	菅平小中学校長 草間 信一

2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	「みんなで育てよう真田っ子を」 ～キャリア教育＝自己肯定感や自己有用感を育み、 スムーズな入学を進めるための連携とそのあり方～	・幼保小中連携を、キャリア教育の視点から捉え、 活動や交流を行うことが出来た。	○
取組	① 各園のアプローチカリキュラム、各校のスタートカリキュラムをもとに、幼保との連携の中で重点となる活動内容などについて意見交換の実施 ② 各園・各校における学びの状況や子どもの姿に応じた支援・指導の連携についての情報交換 ③ 各園・各校における幼保小中の連携を更に深めるための園児・生徒の活動や交流にかかわる情報交換	・各園のアプローチカリキュラム、各校のスタートカリキュラムの計画を持ち寄り、幼保小中連携の中で、子ども達がスムーズに学校に慣れていくように考えることが出来た。 ・各園・各校での具体的な交流計画について情報交換したことで実施に結びつき、交流が深められた。	○
	① 子どもの学習や遊びの様子、活動場所等を参観し、懇談することを通して、研修を深める。 ② 小中学校の職員が校区の幼・保での体験実習をすることにより、幼保職員の具体的な支援に学ぶ。 ③ 幼保から小、小から中へ、配慮を要する子どもの支援のあり方について、情報交換を行う。	・それぞれの園や学校での情報交換により、子ども理解について研修が深まった。 ・体験学習から、中学校への抵抗感を薄め、進学への期待感を高めることが出来た。 ・来入児・児童・生徒の情報交換をすることにより、小1・中1ギャップの解消が図られている。	○

※評価 ◎: 目標を上回る達成 ○: 目標どおり △: 目標未達成の部分あり

3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	6月25日	真田中央 公民館	・上田市校長会と同時開催 ・本年度の計画
2	9月11日	さなだ保育園	・保育参観及び園児・児童・生徒の情報交換 ・各園・各校における学びの連携について ・幼保小中の連携を更に深めるための活動や交流にかかわる情報交換 ・各園・各校でのアプローチカリキュラム、スタートカリキュラムについて
3	12月2日	真田中学校	・授業参観及び園児・児童・生徒の情報交換 ・各園・各校における学びの連携について ・幼保小中の連携を更に深めるための活動や交流にかかわる情報交換 ・今年度の反省と次年度への課題と要望 ・次年度の計画

令和6年度ブロック内の取組について

1 概要

ブロック名		依田窪南部中学校区		構成園校	武石保育園、武石小、依田窪南部中学校	
役員	6年度	会長	武石小学校長		副会長	武石保育園長
	7年度	会長	依田窪南部中学校長		副会長	武石保育園長

2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	・誰にも挨拶できる武石地域を目指す。 ・相手を思いやる心を育てる。	・保育園、小学校、中学校共通で、あいさつを大事に取り組んできた。年が近く、相手と顔見知りや兄弟姉妹関係などで、気楽に話しかけられる関係性もあるが、丁寧なあいさつを進んでできる子は少ない。 ・一緒に行う活動の準備では、相手のことを考えて取り組むことができる姿が見られるが、活動場面では、仲がよいから、自分中心に物事を考えてしまう姿も見られた。	○
取組	(1) 保育園、小学校、中学校で挨拶運動を実施。 ① 各校、園の実態に合わせて挨拶を進める取り組みを行った。 ② 各校、園で「始まり、終わり」の挨拶をしっかりと行うようにした。	・活動の中で、あいさつ場面を意識させることで、気持ちのよいあいさつができるようになってきた。 ・自分から進んで行うことは、個による差があるが、あいさつができる子に続いて行うなど、意識をする姿は増えてきた。 ・あいさつの言葉をしっかりとってから礼をするやり方なので、「丁寧なあいさつ」が姿で表現できるようになってきた。	○
	(2) 中学校、小学校、園との交流 ① 武石保育園研修 ・夏休みに小中教職員が1日保育園に行き、園児と過ごし、保小中の職員間で情報交換を行った。 ② 小中学校の交流 ・音楽交流会を行った。9月5日音楽交流会。9月27日中学文化祭紫苑祭への参加。 ・1月28日中学校説明会で体験入学。中学校で授業へ参加。 ③ 保小の交流 ・小学校のプールや遊具を体験。プール体験は2回実施。 ・発達検査の時、来年度ペア学年になる5年生、2年生と交流。 ・武石保育園年長児を招待して、1、2年生と合同で焼き芋会を行った。	・夏休みに職員研修として、保育園研修を行った。日頃接している子どもたちと異なるため、子どもの発達段階を理解したり、次年度以降に向けての情報共有をしたりするよい機会となった。 ・中学校の文化祭の機会に、長和町の2校とも一緒に音楽交流をすることで、共に学ぶ仲間の姿に刺激を受け、進学に向けての意識づくりができた。 ・年長園児が、小学校の休み時間にプールを利用。小学校への期待を膨らませた園児の姿が見られた。 ・発達検査では、来年度に関わりがある学年が担当したので、「来年待っているよ。」と優しい言葉をかける姿が見られた。 ・焼き芋会では、園児のためにゲームのルールを工夫したり、歓迎の首飾りを作ったりして、2年生が中心となって会を進めることができた。	◎
	(3) メディアコントロールデー実施 ・南部地区の学校でメディアコントロールデーを実施している。武石保育園でもメディアと接しない日などを決めて、保護者に連絡した。	・南部地域の取り組みとして、地域の有線放送で、開催日に放送してもらい、地域の方にも関心をもっていただいた。地域の方から、実際の取り組みの状況についての質問があり、学校運営委員会で、児童や保護者の取り組みの様子や感想をもとに、状況を説明した。メディアから離れることで、親子の会話が増えたり、家族で一緒に読書や運動をするなどを時間を有効に利用している姿が見られた。	○
	(4) 中学校説明会・中学校職員出前授業の実施 ・中学校職員が小学校に出前授業をした。(12月)	・12月の中学校懇談会の期間に、小学校において算数と外国語の授業を行った。小学生にも取り組みやすいメビウスの輪づくりなどで、中学校の学習への不安を和らげる内容で、児童は、「中学校が楽しみになってきた。」という感想が見られた。	○

※評価 ◎: 目標を上回る達成 ○: 目標どおり △: 目標未達成の部分あり

3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	5月21日 11月18日 2月3日	依田窪南部中	○小中連絡会 ・6年生、新1年生の様子について ・中学校説明会(1月28日)について ・特別な支援を要する子どもの支援について 移行支援会議は3月以降随時
2	5月27日 1月20日	武石小	○保小連絡会 ・来入児、新1年生の様子について ・入学式について 移行支援会議も随時行う。

令和6年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名	第一中学校区
-------	--------

時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)		内 容 と 成 果
4月初旬	入学式 入園式	各幼稚園 各保育園 各小学校	幼保小	入学式・入園式に各園・各学校からメッセージをいただき、紹介。
5月	幼保小連絡会	東小・神川小1年、各幼保	幼保小	新1年生の様子の授業参観及び担任との情報交換。
5月20日 11月27日 2月12日	小中連絡会	一中 東小 神川小 職員	小中	小中の職員が今年度入学した生徒と来年度一中に入学する生徒について情報交換を行った。
5月中旬	神川ランド遊び	国分保育園	保	国分保育園児が神川小外遊具スペース「神川ランド」で遊ぶ
9月	来入児保護者会	来入児保護者 (東小・神川小)	幼保小	対面にて実施
9月27日(金)	文化祭(松輝祭)	6年児童	小中	一中にて参加
10月	来入児健診	来入児・来入児保護者 (東小・神川小)	幼保小	来入児の健康診断
11月	来入児発達検査・保護者会	来入児・来入児保護者	幼保小	来入児の発達検査と、保護者への説明会を行った。

11月12日(火)	情報モラル講演会 (東小PTA講演会)	東小PTA 一中区幼保小中の保護者		子どもとメディア信州代表 松島恒志氏に講演いただいた。 演題「子どものメディアとの上手な付き合い方」
10月・11月	特別支援学級見学	一中 東小と神川小の5年生、保護者	小中	中学校での生活に見通しをもつため、5年生とその保護者を対象として見学会を行った。
11月・12月	特別支援学級体験	一中 東小と神川小の6年生、保護者	小中	中学校入学を控えた6年生を対象として、体験学習を行った。
11月6日(水)	一中区人権同和教育研修会	一中区小中学校	小中	神川小学校にて参集にて開催した。各学年より授業公開し、人権同和教育について、全職員が考え合った。
12月	家庭科 保育実習 (中学校)	国分保育園	保中	保育の領域の学習の一環として、見学を中に行った。
1月31日	中学校説明会	一中 神川小 東小 6年児童	小中	児童生徒、保護者それぞれの説明会を対面で行った。6年生とその保護者は中学校の様子を知ることができた。
1月	幼保小連絡会	1年・特支担任 各幼保	幼保小	入学に向けての連絡と、園児の様子等の情報交換を行った。
1月より随時	移行支援会議(小⇒中)	特支、不登校・不適応傾向の6年児童	小中	特支、不登校・不登校傾向の6年生児童が、保護者と共に、中学での学びの場の確認や相談を事前に行う。
1月より随時	移行支援会議(幼保⇒小)	プレ支援シートを作成した園児	幼保小	プレ支援シートを作成した園児について、具体的な合理的な配慮や保護者からの要望をお聞きして、小学校での学びの場の確認や相談を事前に行う。
3学期	来入児保護者会	来入児保護者 (東小・神川小)	幼保小	入学に向けての最後となる保護者説明会を対面にて実施(神川小・東小)

令和6年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名	第二中学校区
-------	--------

時 期	交 流 事 業 名	対象園校名（学年、組等）	内 容 と 成 果	
5月15日（水） 7月10日（水） 11月11日（月） 2月4日（火）	授業参観・保育参観	清明小、南部保稚園、 認定こども園キッズうえだみなみ 第二中	幼保	子どもの主体性を活かした活動を参観することができ、今後の取り組みへの参考となり、学ぶことができた。また、校種間の情報交換もできた。
			小	特に、幼保がどのような方針で子どもを育て、送り出してくださっているのかを理解するための大切な機会になっている。相互理解、情報交換の場として、大事にしたい。
			中	発達段階に応じた支援のあり方を共有できるよい機会となった。
6月1日（土）	塩尻小学校運動会招待	各幼稚園・各保育園の年長園児 小学校職員・児童	幼保	年長児にとって、小学校への期待と楽しみな気持ちで参加することができた。
			小	暑い中、待つ時間が多くなることから、運動会以外での招待、交流の場を検討したい。
6月17日（月）	6年中学校体験	塩尻小学校・清明小学校の 各6年生が二中へ	小	電車利用となるため、参加の仕方、調整が難しい。検討したい。（塩尻小） 中学生の生活の様子を目にし、中学校生活についてイメージを持つ良い機会となった。（清明小）
			中	中学生の学習の成果の一部を小学生にも知ってもらい良い機会になった。塩尻小の参加について、日程や移動について検討し、参加できる環境を考えたい。
9月27日（金）	二中祭見学	塩尻小学校の6年生が二中へ （清明小は休業日と重なり不参加）	小	担当の先生に、丁寧に指示をしていただき、スムーズに見学することができ、中学生の活動の様子をみて、進学後の生活のイメージづくりにつながった。（塩尻小） 日程調整を行い、参加できるようにしたい。（清明小）
			中	中学生の学習成果の一部を小学生に知ってもらい良い機会となった。
5月～3月	幼保小交流会	・各園の年長園児と清明小5年児童 保護者説明会に合せて実施（1月31日） ・塩尻保・あそびの森あきわの年長園児と塩尻小1年児童（3月実施予定）	幼保	保護者会と同日に開催してもらい有効であった。上田市全体で検討をお願いしたい。（南部幼）
			小	今年の試みで、5年生（次年度の兄弟学級）と交流したが、時期的に5年生にとって厳しかった。この時期が適切かと考える。来年は2年生との交流も検討している。（清明小） 清明小と同様、5年生との交流も検討したい。（塩尻小）
1月23日（木）	中学校説明会・体験授業	塩尻小学校・清明小学校の 各6年生と保護者が二中へ	小	昼食の場を確保いただき、ありがたかった。丁寧な対応に感謝。（塩尻小） 中学生の授業の様子や部活動の様子を見ることができ、進学に向けて期待を持つことができた。（清明小）
			中	中学進学に向けて、心の準備をする良い機会となった。

令和6年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名		第三中学校区			
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果		
6月17日(月)	中学校体験①	三中職員・生徒と北小6年	小	・学級ごとに教科の希望をとり、中学校での授業(教科学習)を1時間ずつ体験した。 ・中学校1年生による中学校生活や部活動の紹介を聞いた。 ・小学生が中学校の先生に教えてもらい、中学の授業が実際にイメージをふくらませることができてよかった。 ・「中学の様子がわかった」等、不安が薄らいだ子や「あの部活動に入りたい」と期待を膨らませる姿があった。	
		三中職員・生徒と西小6年	中		
8月 30日(金)	三中ブロック 不登校対策委員会	三中・北小・西小職員	小	・各校の長期欠席児童の現状を共有し、家庭の状況による家庭への配慮点や支援の方向について話し合えた。 ・不登校についての情報交換の他、小中連携のあり方について、考えることができた。 ・小6から中1へ入学後の、中1ギャップを埋めるべく、小中の連携をしっかりと行っていく必要性を感じた。	
			中		
①8月～11月 ②7月22(月) 23日(火)	①中学生の保育体験実習 ②中学生の職場体験	三中2・3年 芙蓉保育園児を中心に 三中2年・北小職員・児童 西小職員・児童	中	・日頃の学校生活とは違う、保育士の立場になって、はたらくことのやりがいや将来について考える機会を得た。 ・コミュニケーションの取り方など難しさなどを感じとり、園の先生方の喜びや苦勞について体験できた。 ・中学生との交流を通して、お兄さんお姉さんとの活動を楽しんだ。 ・小学校の学級で2日間過ごし、教師の生活を間近で見て、感じることもできた。 ・小学生の学習をサポートしたり、一緒に遊んだりして交流することができた。	
			幼保		
			小		
9月6日(金)	小学生の職場体験学習①	北小6年生	小中	・校内見学 ・授業参観 ・保健室や図書館での業務 ・校内修繕のお手伝い	
10月～12月	北保育園・上田幼稚園との交流	西小5年生・北保育園、上田幼稚園の年長児	幼保	・5年生が園に出向き、一緒に遊んだり、活動をしったりすることを通して、交流を深めることができた。 ・5年生が企画した遊びの広場(射的ゲームなど)に園年長児を招待し、交流することができた。 ・園児は小学校生活を体験することで、小学校への期待感を高めることができた様子だった。 ・異年齢の子ども同士が関わることで、自他の良さを認識し、豊かな人間性を育むきっかけとなった。	
			小		
10月31日(金)	小学生の職場体験学習②	北小5年生	小中	・校内見学 ・授業参観 ・保健室や図書館での業務 ・校内修繕のお手伝い	
11月6日(水)	芙蓉園との交流会	北小5年生・芙蓉園年長児	幼保	・5年生が企画した遊びの広場(射的・釣り堀・工作等)に芙蓉園年長児を招待し、交流することが出来た。 ・年長児も小学校への入学に期待を高める機会となった。 ・今後は、他園との交流の機会も増やしていきたい。	
			小		

11月 22日(金)	三中ブロック 人権同和教育研修会	三中・北小・西小職員	小	・三中を会場に各校10名程度の出席で公開授業と授業研究会を行った。 ・公開授業① 1年1組「読書会『ふゆめがっしょうだん』」(学級活動指導者:東信教育事務所学校教育課 指導主事 新海 千博 先生) ・公開授業②3年2組「山小屋で三日間すごすなら」(国語)指導者:菅平小学校 教頭 徳永 吉彦 先生 ・公開授業③6年3 組「明治のつくりを進めた人々」(社会))指導者:東信教育事務所生涯学習課 指導主事 中村 哲 先生
			中	
1月 23日(木)	中学校体験②	三中職員・生徒と北小6年 三中職員・生徒と西小6年	中	・中学校の総合的な学習の時間の発表会を小学6年生が参観した。 ・中学生の学習発表を見て、中学生の姿や学びの様子を感じ取った。 ・中学生活に向けての希望や期待を膨らませる機会となった。 ・主に中学1年生の発表となったが、前年の見学時の思いを重ねながら、小学生向けにわかりやすい説明ができた。
			小	

令和6年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名		第四中学校区			
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果		
6月6日	小学校6年生特別支援学級児童の中学校見学	南小6年特別支援学級児童 第四中特別支援学級児童	小 中	中学校の校舎内や授業を見学したり、中学校の先生と関わることを通して、中学校での生活や授業をイメージし、中学への不安を少なくし、期待をもつことができた。	
7月23日 7月24日	保育園での職場体験学習	第四中学校2年生	中	キャリア学習の一環として、保育士の仕事の体験をした。園児に関わる保育士の姿から、今後の自分の生き方や社会への貢献について思いを深めることができた。	
7月30日 7月31日 8月22日 12月10日	来入児聴き取り参観	城下小職員 城下保育園・三好町保育園 上田南幼稚園 キッズうえだみなみ	小	小学校来入児担当が各園を訪問し、年長児クラスの参観をした。年長児クラス担任との懇談と、来入児に関する聞き取りを行うことにより、具体的な情報が収集できた。園の側からも、来入児の発達状況などを見ていただき、具体的な話ができた。	
7月24日 7月25日 7月31日 8月 1日 8月 2日 8月 5日 8月21日	来入児聞き取り参観	南小学校職員 日向幼稚園・みのり保育園 城下保育園・下之条保育園 川辺保育園・泉田保育園 南部保育園・地球クラブ 上田南幼稚園	小	小学校来入児担当と支援担当が訪問し、年長児クラスの参観をした。年長児クラス担任との懇談と来入児に関する聞き取りを行うことにより、具体的な情報交換ができた。特に個別の支援が必要な子の情報共有ができた。	
10月8,9,10,18,21日 12月10、13日	家庭科保育実習	第四中学校2学生	中	家庭科の保育単元の学習の一環として、三好町保育園で実習を行った。園児と遊ぶために自分で遊び方や関わり方を考え準備することで、乳幼児の特性や必要な配慮について考えることができた。	
12月19日	小学5年特別支援学級児童の中学校見学	城下小学校・南小学校 特別支援学級5年生	小 中	中学の施設見学や学校説明を行った。特別支援学級の児童の様子を2年間に渡って見ることで、小中間での情報共有や中学受け入れにおける配慮点について、中学校の特別支援学級担任が確認することができた。小学生は、中学校の校舎内や授業を見学したり、中学校の先生と関わることを通して、中学校での生活や授業をイメージし、中学への不安を少なくし、期待をもつことができた。	
2月20日	保育園児と児童会福祉交流委員会との交流	みのり保育園年長児 南小福祉交流委員会	幼	小学校高学年児童との交流を通して、小学校入学に向けての期待が高まり、より前向きな気持ちで小学校入学の気持ち準備ができた。	
			小	保育園児との交流内容を考え、園児の実情に合わせた企画を実際に行うことで、相手を大切に考える意識をもって活動することができた。	

1月16日	特別支援学級来入児見学	南小学区の幼稚園・保育園	幼保	特別支援学級の来入児に学校の実態や様子を見ていただき、理解を深めることができた。
1月31日	中学1年生による 中学校説明会	城下小学校・南小学校6年生 およびその保護者 第四中学校1年生	小	直接中学へ行つての説明会を行うことができた。生活の決まりや様子について先輩から直接教わることで詳しく知ることができ、中学校生活の基本について知り、入学への期待が高まった。
			中	中学1年生が来年度新入生の中学入学への不安を和らげるため、様々な活動に取り組んだ。後輩の入学にあたり、自分たちの生活の振り返りをすると共に、学年生徒が協働して自分たちの生活を改善しようとする事や、自分たちがより良い先輩になろうとする自覚を高めることにつながる良い機会となった。
1月24日	来入児保護者会 来入児1日入学	来年度入学予定児童 城下小学校1年生	小	来入児保護者会に合わせ、年長児と1年生とで交流会を行った。交通安全のDVDと一緒に視聴して学習し、じゃんけん列車で交流をした。教室でパッチンカエルで遊びプレゼントした。 1年生にとっても、会を進めたり、準備をしたり、有意義な活動になった。

令和6年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名		第五中学区			
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果		
春・秋・冬	お散歩しよう 一緒に遊ぼう	神科第一保・第二保 豊殿保 豊殿小・神科小	保	未満児の散歩で校庭を活用する中で、自然な形で交流が生まれている。	
			小	散歩をする園児の様子に、声をかけたり、遊んだりする姿があった。	
4月～5月	スタートカリキュラム	神科小 豊殿小	小	各校の日課を意識しながら、1年生に合わせた時間割で学校生活に慣れるよう学習を進めていく。	
5月	保育園の先生による1年生の授業参観と懇談会	豊殿小 神科小	小	参観を実施し、その後気になる子について情報交換を行った。	
6月	小学校運動会	豊殿保・神科第一保・第二保 あゆみ保・北幼・にしおか他 (豊殿小)・神科小	幼保	かざぐるまひろいに参加して、小学校入学への期待感をもった。	
			小	かざぐるまひろいに参加した園児を、温かく迎えることができた。	
6月	第五中の花壇作り	上田北幼稚園 第五中3年生	保	中学生と一緒に花壇に花を植えた。 中学生と話をしながら楽しく交流ができた。	
			中	上田北幼稚園の園児と一緒に花壇に花を植えた。 園児の目線に合わせて優しく話しかける姿が見られた。	
7月	中学校職場体験学習	神科第一・第二・あゆみ 豊殿保・にしおか・神科小・ 豊殿小・第五中	幼保	保育士をめざす五中生が各園で職場体験を実施。	
			小中	保育士や小学校教諭をめざす五中生が各園、各校で職場体験を実施。保育等の大変さ、楽しさを学んだ。	
7月～8月 (夏休み中)	保育園プールでの保育体験	豊殿保 豊殿小	保	計画していたが、今年度は実施できなかった。	
			小	計画していたが、今年度は実施できなかった。	
9月	第五中前歩道の花壇	あゆみ保 第五中3年生	保	五中改築のため実施できなかった。	
			中	五中改築のため実施できなかった。	

9月	中学校文化祭見学	豊殿小・神科小(6年) 第五中	小	五中改築のため実施できなかった。
			中	五中改築のため実施できなかった。
10月	小学校音楽会	豊殿保・にしおか・上田北幼 神科第一保・第二保 (豊殿小)・神科小	幼保	音楽会当日ではなく、特別時間割の中で鑑賞を行った。小学校の様子を知る機会となった。
			小	音楽会の発表に向けて、聞いてもらう人がいる、相手を意識しての発表練習になった。
11月	小1との交流	上田北幼・神科第一保・第二保・あゆみ・にしおか・神科小 (1年)	幼保	小学生1年生の発表に触れ、小学校の様子を知る機会となった。
			小	音楽会で発表した内容を見てもらい、賞賛を受けることで、成長を実感できた。
11月～2月	中学校教員の小学校参観	豊殿小・神科小(6年) 第五中(1学年)	小	中学校の教員が6年生の授業参観し、特に配慮が必要な児童の様子を参観してもらった。
			中	中学校の教員が6年生の授業参観し、特に配慮が必要な児童の様子を把握した。
1月	幼保小連絡会	豊殿保・神科第一保・第二保 あゆみ保・北幼・にしおか他 豊殿小・神科小	小	それぞれの園と情報交換し、4月からの指導、支援の準備に活かすことができた。
2月	年長児と5年生の交流	豊殿保・神科第一保 第二保・あゆみ保 北幼・にしおか他 神科小・豊殿小	幼保	来年お世話になる小学生と交流することができ、小学校への期待感が持てた。
			小	お兄さん、お姉さんとして園児を迎え、一緒に楽しむことができた。
2月	中学校での体験授業 新入生説明会	神科小・豊殿小 第五中	小	中学校の授業を体験し、中学校への期待感を持った。
			中	中学校の様子を小学生に説明することで、先輩になる自覚が芽生えた。
3月	小学校へのアプローチカリキュラム	豊殿・神科第一保・第二保 あゆみ・上田北・にしおか	幼保	お昼寝をしない日の設定や時間短縮など、小学校生活に向けての準備し、入学への期待を膨らませた。

令和6年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名		塩田中学校区			
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果		
6月1日	東塩田小運動会への招待 塩田西小運動会への招待 中塩田小運動会への招待	入学予定園児 小学校全校児童と担当係児童	小	保育園と相談のうえ、招待は行わなかった。	
			幼保		
8月中	来入児のいる幼保への小学校職員の見学と情報交換(塩田西小)	塩田西小職員・西塩田保育園等	小	移行支援が必要な園児がいるなど特に必要な園について実施した。	
年間を通して	来入児のいる幼保への小学校職員の見学と情報交換(中塩田小)	中塩田小職員・塩田中央保・塩田北保等	小	移行支援が必要な園児がいるなど特に必要な園について実施した。	
8月中	小学校職員の保育園での参観実習(東塩田小)	東塩田小職員・東塩田保育園児	小	教頭・新任職員・来入児係が保育園に行き、特に年長児のクラスを見て、情報収集に努めた。	
7月下旬～2月下旬	来入児のいる幼保への小学校職員の見学と情報交換(全小学校)	塩田地区内全保育園と上田女子短大附属幼稚園	小	来入児の園での様子を具体的に参観し、特別な配慮が必要になる園児への支援や今後の支援の方向を共通理解することができた。事前相談の機会も早めにもつことができた。	
			幼保	来入児の様子を具体的にみていただき、来入児への理解と支援のあり方の共通理解が図れた	
9月22日	塩田中学校文化祭の見学	中塩田・塩田西小6年生	小	中学校の文化祭を見学し、来年度の学校生活をイメージすることができた。	
10月3日	1年生遠足	上田女子短大附属幼稚園	小	年長児が紹介する遊びを体験することで、仲を深めることができた。	
			幼保	自分たちが普段遊んでいる裏山を1年生に紹介するというので、交流を深めることができた。	
7月9・10日	小学校職場体験	塩田中学校生徒	中	キャリア教育に生かすことができ、将来の目標が持てた。	
10月17日	音楽会(リハーサル)への招待(塩田西小)	西塩田保育園年長	小	保育園児に演奏を聴いてもらい、本番をイメージした演奏をすることができた。	
			保	小学生の演奏を聴くことで、小学校への期待感をもつことができた。	

10月下旬～11月上旬	就学前健康診断・就学前検査 (全小学校)	小学校入学予定園児	小	市教委からの応援をいただき実施。入学予定園児の検査中の様子や待機している時の様子を通して、園児の実態把握が深まった。
			幼保	健康診断を通して体の調子が保護者に理解され、健康な体で入学を迎えようとする意識を高めることができた。 園児にとっては、小学校職員と関わることで、入学を楽しみにする気持ちを高めることができた。
10月29日	1年生と来入児交流会	東塩田小1年生と来入児	小	来年度迎える側として、少しお兄さんお姉さんという自覚を持つことができた。
			幼保	小学校が楽しい所であると思うことができた。
11月6日	1年生と来入児交流会	中塩田小1年生と来入児	小	1年生児童は、交流会を通じて来入児を迎えたいという意識を高めることができた。
			幼保	交流を通して、小学校の様子を知り、入学への意欲が高まった。
12月3日	塩田支会小中学校人権同和教育公開授業	塩田地区小・中学校職員	小	東塩田小学校の授業を参観し、児童の様子や授業についての意見交換を行った。授業づくりの中で、人権同和教育のあり方を振り返ることができた。幼保園へも案内したところ参観していただいた。
11月11日 11月28日	4年生と来入児との交流会	塩田西小4年生と来入児	小	相手意識をもって交流計画を立て、あたたかい気持ちを育むことができた。
春・秋季	近隣小学校への散歩	塩田地区内の保育園	保	広い校庭や大きな遊具で遊んだり、小学生の屋外での活動を見学したりすることで、小学校を身近に感じていた。
1月22日	中学校説明会	東塩田小・中塩田小・塩田西小の6年児童及び保護者 学区外の入学予定児童	小	中学校の先生から教わる体験授業により、入学後の学習についてイメージすることができた。
			中	新入生とその保護者に学校生活について説明を行い、先輩になる自覚が出てきた。
2月～3月の複数回	小学校進学に向けて移行支援会議	各幼保園関係職員 小学校関係職員	幼保	入学後の支援の方向について確認することができた。
2月～3月の複数回	中学進学に向けて移行支援会議	各小学校関係職員 中学校関係職員	小	入学後の支援の方向について確認することができた。
年間を通して	盈進池周辺の散策 (中塩田小)	塩田北保・塩田中央保育園	保	遠足や散歩等で立ち寄り、自然を満喫することができた。
年間を通して	小学校見学	小学校入学予定来入児	幼保	小学校入学に不安を抱える保護者が、見学を希望し見通しがもてるようにした。
年間を通して	中学校見学	塩田中学校入学予定の5、6年生対象	小	入学後の学校生活が不安な生徒が、中間教室等を見学し、中学校の生活をイメージすることができた。

令和6年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名	第六中学校区
-------	--------

時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容	成 果
5月	幼保小連絡会	各幼稚園 保育園小学校(1年生)	幼保	・入学後の現状を把握したうえで、情報の共有と入学前に取り組むべき内容の把握ができた。
6月～8月	希望者の学校見学	来年度入学予定児童	幼保	・学校見学をすることで入学への見通しを持てた。
6月～8月	職員の保育園参観	各小学校	幼保	・園児の生活を知り、入学児童への理解を深めることができた。。
6月1日	運動会参加	浦里小学校 川西小学校	幼保小	・本年度「来入児 かざぐるま拾い」は計画しなかった。
7月24日	なかよし交流会	浦里保育園(年長児) 浦里小学校(1年生)	保小	夏祭りで作った迷路で遊ぶ等で楽しく遊び、久しぶりに交流することができた。
7月22・23日	職場体験	第六中学校・各小学校 各幼保育園	中	・各小学校、各幼保育園で中学生を受け入れていただき、体験活動を行うことができた。
			幼保小	・中学校からの依頼通り、2日間受け入れることができた。子どもの様子を知ったり、交流したりすることができ、学びにつながった。
9月30日	小学校音楽会参加	浦里小学校 浦里保育園	保小	・風車拾いに参加することができた。保護者も喜び、入学に期待が持てた。

12月	保育園実習	第六中学校(3年生全クラス) 泉田保育園	中	・園児とふれあい、遊びや対話を通して育児や幼児の特性について学ぶことができた。
			保	・中学生が生き生きと子どもと関わって楽しんで過ごし、園児の様子を肌で感じる事が出来た。
12月11日	交流会	川辺小6年生 川辺保育園年中・年長児	保小	川辺小6年生が川辺保育園に来園。6年生が手作りのゲームを持参してくれ、年中・年長児と交流をした。
1月	幼保小連絡会	小学校 幼・保育園	幼保小	・年長児がスムーズに入学できるように運営してもらった。 ・入学予定児童について個別に情報提供していただくことができた。
1月19日	中学校説明会	第六中・各小学校	小中	・6年生、保護者ともに来校し、説明会を対面で行った。6年生は、中学1・2年生の授業も参観した。 ・初めて中学校を訪れた6年生も多く、中学校進学への希望をさらに強くもつことができた。 ・各校の6年生は中学の様子を知り、期待に胸を膨らませることができた。
2月	来入児1日入学	川西小学校 川西小入学予定児全員	幼保小	・5学年児童が企画して、楽しく交流することができた。
		浦里小学校 浦里小入学予定児全員	幼保小	・校内を案内したり、折り紙を教えてもらうなどの交流をおこない小学校へのあこがれが深まった。
6月～3月	学校見学／移行支援会議	配慮の必要な園児や児童	幼保小 小中	・見学をすることで、不安を軽減できた。 ・配慮を要する児童の支援会議を行い、入学後の支援の方向を検討した。

令和6年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名	丸子中学校区
-------	--------

時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果	
通 年	中学校教諭による数学の授業	丸子中央小学校 丸子中学校	小	中学校での教科担任制に向けてよい経験ができた。緊張感をもって学習ができた。また、担任がTTで授業に入れるので、習熟度に応じて支援ができ、子ども達の理解度が向上し、学習意欲の高まりにつながった。
			中	小6(2学級)及び小5(3学級)において、算数236時間の授業を行った。6年生児童からは「中学でも算数を頑張りたい」という声が聞かれた。
6 月	中学校家庭科授業体験学習 幼児との交流	中丸子保育園・丸子中	保	玩具など遊べるものを準備してきてもらい一緒に遊び経験はとてもよかった。園児もとても嬉しそうでした。
			中	6/14・18 2学年生徒(2学級)が2時間の訪問。年齢ごとのクラスに合った内容を考えて、グループでゲームや読み聞かせなどで交流した。中学生にとって幼児との交流は他者を思いやる心の醸成に大いに寄与すると考える。
	来入児と5年生との交流	まるこ保育園入学予定来入児・ 丸子中央小5年	保	遊戯室始めの会で自己紹介。園庭で氷鬼ごっことドッジボール。小学生に優しく接してもらい小学校を身近に感じた。鬼ごっこやドッジボールは力やスピードを体感じ憧れのまなざしを持っていた。
			小	数回の交流であったが、子どもたちはとても楽しみにしており、意欲的に取り組む姿が見られた。また、あたたかな関わりが随所に見られ、とても良い経験になっている。
	青少年ネットワーク会議	丸子中央小・丸子中 丸子修学館高	小	異年齢の集団で、企画を考えたり、イベントに参加したりすることで、互いの考えのよさを感じたり、新たな視点を発見したりと新たな価値観を学ぶよい機会となっている。
			中	小中高生徒会役員が参集し、年3回実施。2回目は丸子中会場で実施した。各回とても有意義な交流となっている。
7 月	丸子中学校職場体験学習	中丸子保・まるこ保育園 丸子中	保	緊張しながらも園児と関わる姿があり、体を使ってたくさん遊んでもらい嬉しそうでした。
			保	子どもたちは、とても喜んで遊んでもらった。保育準備(プールメダル作り)も丁寧に組みんでいただき助かった。また反省振り返りから職員が学ばせていただくこともあった。
			中	18名の生徒が職場体験学習を行った。キャリア教育の趣旨をふまえ、生徒は自己の生き方などを考えるきっかけとした。
	職員研修(小→幼保)	中丸子保・まるこ保 丸子中央小	保	小学校の先生が見に来てくれたことでいつもより張り切る姿があり、就学への期待がふくらむと思いますので、続けていっていただけると良いと思います。
			保	園生活を経験していただき子どもたちも喜んでいた。来入児の様子は、実際見ていただき具体的に情報交換出来て良かった。
			小	実際に園児と関わる中で、細やかな支援の具体を見聞きし、大変参考になった。また、園児の様子についても、情報共有を行うことができ、貴重な機会となった。
7～8 月	プール開放	中丸子保・まるこ保 丸子中央小	保	雨のためプールへ中止でしたが、図書館も見学をさせていただき、学校見学できたことで期待を持つことができました。
			保	楽しく安全に経験したことで、小学校入学の期待につながった。
			小	短時間ではあるが、とても楽しく水遊びをしてもらい、学校が楽しみなる機会につながっている。
7 月 11 月 2 月 (年3回)	幼保小中合同 メディアコントロール週間	中丸子保、まるこ保 丸子中央小、丸子中	保	保護者の関心も高く取り組み率も良かった。数日でも意識して生活できる機会があることは良いと思う。
			保	親子の触れ合いや、手伝いの課題を各家庭で考えて実践していただく。カードを配布しぬりえやシール貼りで楽しく取り組めるよう工夫。メディアコントロールを意識するきっかけとなっている。
			小	メディアとのかかわりについて振り返る良い機会となっているので、継続していきたい。ただ、11月は人権月間と重なるため、意識を高めることに苦労している面がある。
			中	保護者向けに週間の周知を行った。生徒にも話をしながら、適切にメディアを利用することの意識を啓発した。スマホなどの端末利用が低年齢化していることから、継続的に保護者と連携していく必要がある。
10 月	来入児と5年生との交流	まるこ保育園入学予定来入児・ 丸子中央小5年	保	秋祭り交流。5年生が手作りカードやコーナーを準備して遊戯室に秋祭りを持ち込んでくれた。考えたり体験したりするアイデアが豊富にあり子どもたちは楽しい経験となった。
			小	数回の交流であったが、子どもたちはとても楽しみにしており、意欲的に取り組む姿が見られた。また、あたたかな関わりが随所に見られ、とても良い経験になっている。
11 月	中学校体験授業 (6年生が中学校で)	丸子中央小・丸子中	小	中学1年生より生活や学習の様子を教えてもらえるので、親近感があり、安心感が高まっている。授業の体験についても、中学校の学習を学ぶよい機会となっている。
			中	中1生が合唱で歓迎し、学校生活を紹介する。小6児は国語、英語、理科の講座に分かれて授業体験。児童や保護者が来校するので、中学校生活のおおよその見通しを持つのに大切な機会と考える。

2月	中学校の特別支援学級授業 参観	丸子中央小学校 特別支援学 級在籍児童(5年生)	小	中学校の生活や学習の様子を実際に見学することで、不安な気持ちが和らぎ、進学 の意欲が高まるのでとてもありがたいです。
3月	来入児と5年生との交流(予 定)	まるこ保育園来入児・丸子中央 小5年	保	5年生へお礼の花束を持参し小学校を訪問予定。校内の場所に慣れたり入学への期待を膨らませる。
			小	

令和6年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名	丸子北中学校区
-------	---------

時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容	成 果
年間	地域あいさつ運動	丸子北中・丸子北小・塩川小	小中	・各学校ごとに期日を設定し、学校独自で行ったり、地域の方と一緒にしたりした。あいさつの大切さを理解し、進んであいさつのできる小中学生が増えてきている。
5月9日	小中連絡会	丸子北中・丸子北小・塩川小	小中	・生徒の出身校の先生方に新入生の授業の様子を見ていただき、情報交換を行った。個々の児童の支援方法について、多くのアドバイスをいただくことができた。
5月10日	塩川小・幼保小連絡会	塩川小・塩川保・ちぐさ幼	幼保 小	・児童の出身園の先生方に新入児童の授業の様子を見ていただき、情報交換を行った。個々の児童の支援方法について、多くのアドバイスをいただくことができた。
5月21日	丸子北小・幼保小連絡会	丸子北小・依田保・長瀬保	幼保 小	・児童の出身園の先生方に新入児童の授業の様子を見ていただき、情報交換を行った。個々の生徒の支援方法について、多くのアドバイスをいただくことができた。
6月7日	丸子地域新任職員等 인권教育研修会	丸子北中・丸子中・西内小・塩川小・丸子中央小・丸子北小	小中	丸子地域に新しく赴任した職員を対象とした人権童話教育研修会を行った。丸子地域の学校職員として責務や役割を理解し、子どもたちのために努めていく意欲を高めることができた。
年間	学校見学	塩川小(1年生・特別支援学級)・塩川保・ちぐさ幼	幼保 小	・園児が安心して小学校に入学できるように、1年生の授業の様子や特別支援学級の授業の様子を見学した。
6月	塩川小運動会への招待	入学予定園児 小学校全校児童と担当係児童	小 幼	・来入児が運動会の様子を見学したり種目(風車拾い)に参加したりすることで小学校への期待をもってもらうことができた。
6月	ふれあい保育実習	丸子北中(2年生)・依田保・長瀬保	保 中	・園児と一緒に遊ぶことを通して、園児とのかかわり方や支援の仕方など学ぶことができた。
7月	小学校プール開放	塩川小・塩川保・ちぐさ幼	幼保 小	・小学校の施設に慣れってもらうことを目的として、小学校のプールを開放した。園児が水に慣れる機会としても有効であった。
7月2日	特別支援学級交流会	丸子北中・丸子北小・塩川小	小中	・3校の児童生徒が、色々な活動を通して交流を深めることができた。卒業生との再会を喜んでいる児童も多かった。児童生徒にとって貴重な学びの場になるので今後も継続していきたい。
7月29日	丸子支会学校職員研修会	丸子北中・丸子中・西内小・塩川小・丸子中央小・丸子北小	小中	・丸子地域の小中学校職員(人権同和教育)研修会を行うとともに、各種委員会の事業計画を検討し合った。職員同士の親睦を図る機会ともなった。
7月～8月	保育園年長児参観	丸子北小・依田保・長瀬保	幼 小	・小学校の先生方に年長児の様子を見ていただき、情報交換を行った。来入児に関する情報を多くいただくことができ、有意義な会となった。
7月	職場体験学習	丸子北中(2年生)・依田保・長瀬保・ちぐさ幼・塩川保	幼保 中	・2日間の日程で、職場体験学習を実施した。園児へのかかわり方を学び、園の先生方の仕事内容を学ぶことができた。将来の職業を考える貴重な学習となった。
8月8日	新任職員研修	丸子北中・丸子北小・塩川小 長瀬保	幼保 中	本年度赴任した新任職員を中心に長瀬保育園で研修し、熱中症対策など安心・安全な園の運営について学べた。
9月4日	中学校見学	丸子北中(特別支援学級)・塩川小(特別支援学級児童)	小中	・児童が安心して小学校に入学できるように、中学校の特別支援学級の授業の様子や学校内を見学したりした。親子ともに入学後の見通しをもつことができた。
9月19日	来入児保護者会	丸子北小・依田保・長瀬保・その他の幼保	幼保 小	・来入児の保護者が小学校の生活の様子、年間計画、入学に向けての準備等についての説明を受け、保護者会を結成した。保護者同士が交流する機会ともなった。

9月27日	中学校文化祭見学	丸子北中・丸子北小(6年生)	小中	・小学校6年生が中学校の文化祭を見学した。中学校生活への希望や期待感を高めることのできる機会となった。見学してもらう内容を見直しながら、今後も継続していきたい。
9月～10月	ソルガム迷路で遊ぼう	丸子北小(2年生)・依田保・長瀬保	保小	・2年生と一緒に遊んだりすることで、生活科の楽しさを味わうことができた。小学生にとってもお兄さんお姉さんになる自覚を強くもつことができた。
10月	小学校音楽会練習参観	丸子北小・塩川小・依田保・長瀬保・塩川保・ちぐさ幼	幼保小	・丸子北小と塩川小のそれぞれで、園児を招待し、音楽会のステージ練習の様子を見学してもらった。園児は小学校の行事に関心をもち、入学への期待感を高めることができた。小学生にとっても見てもらうことで、本番への緊張感を高めることができた。
10月30日	来入児保護者会	丸子北小・依田保・長瀬保・その他の幼保	幼保小	・保護者へは小学校生活に関する説明を行い、児童は諸検査を行った。検査の様子から、個々の児童の特性をつかむことができ、入学後の支援計画の資料とすることができた。
10月29日 2月6日	小中連絡会	丸子北中・丸子北小・塩川小	小中	・中学校へ入学予定の児童についての情報交換会を行った。特別な配慮が必要な児童についての支援方法等を細かく確認しあうことができた。
11月～12月	1年授業参観・交流活動	丸子北小(1年生)・依田保・長瀬保	保小	・年長児が1年生の授業を参観したり、1年生と一緒に遊んだりすることで、小学校生活の様子を理解し、生活の楽しさを味わうことができた。小学生にとってもお兄さんお姉さんになる自覚を強くもつことができた。
11月13日	丸子北中学校区人権同和研修会	丸子北中・丸子北小・塩川小	小中	・丸子北中を会場とし、授業参観と研究会を通して、人権同和教育に関する授業内容や指導法について多くのことを学ぶことができた。
1月11日	なかよし学級体験入学	丸子北中・丸子北小学校(特別支援学級)	小中	・中学校の特別支援学級の授業を実際に体験することで、中学校の授業の様子を理解し、入学への見通しをもつことができた。
1月～2月	塩川小・丸子北小・幼保小連絡会	丸子北小・依田保・長瀬保・塩川小・塩川保・ちぐさ幼	幼保小	・小学校へ入学予定の園児についての情報交換会を行った。特別な配慮が必要な園児についての支援方法等を細かく確認しあうことができた。
1月17日	丸子北中体験入学・保護者説明会	丸子北中・丸子北小・塩川小	小中	・入学予定の児童に中学校の授業を実際に体験してもらったり、中学校の生活についての紹介を聞いたり見たりしてもらった。児童にとっては、中学校生活への不安や心配ごとを解消し、入学への期待感を高める機会となった。保護者へも中学校生活の説明を行い、中学校生活への見通しをもていただいた。
1月	来入児保護者会	丸子北小・依田保・長瀬保・その他の幼保	幼保小	・保護者へは入学に関する説明会を行った。保護者は小学校の生活に見通しと安心感をもつことができた。
2月	赤ペン先輩	丸子北中・塩川小	小中	・6年生が解いた算数の問題を中学1年生が採点し、コメントをつけて返却した。小学生は先輩への憧れを抱き、中学生は先輩になるという自覚をもつことに有効な取組となった。
2月	来入児保護者会・来入児一日入学	塩川小・塩川保・ちぐさ幼・その他の幼保	幼保小	・保護者へは入学に関する説明会を行い、来入児は小学校5年生と交流活動を行った。来入児は、楽しく遊んでいる様子から小学校生活をとても楽しみにしていることが感じられた。
3月	なかよし学級中学校見学	丸子北中・丸子北小(5年生)	小中	・特別支援学級の5年生児童が、親子で中学校の授業を参観したり、中学校生活の説明を受けたりした。早めに見通しを持つことにより、保護者は中学校生活や6年生での生活への見通しを持つことができた。

令和6年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名	菅平中・真田中区
-------	----------

時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容	成 果
5月13日 11月18日	真田支会学年会・部会	長小、傍陽小、本原小 真田中、菅平小・中	小 中	○同学年会、各専門部会の開催 ・各学年会、部会、委員会に分かれ、真田地区児童生徒の健全育成を目指して、情報交換や指導改善に向けた話し合いを行い、各校の状況を知り、実践から学ぶ機会となった。
5月25日 6月1日 5月24日	小学校運動会への 来入児の参加 (かざぐるま拾い)	傍陽小:そえひ保、いずみ幼他 本原小:さなだ保、いずみ幼他 菅平小:すがだいら保	幼 保	<傍陽小:運動会に来入児を招待し、かざぐるま拾いを実施した> <本原小:運動会に来入児を招待し、かざぐるま拾いを実施した> <菅平小:来入児が運動会の様子を見学、種目への参加をすることで小学校への期待をもってもらうことができた。>
6月18日 6月25日 5月16日 6月25日	幼保小連絡会①	長 小:さなだ保 他 本原小:さなだ保、いずみ幼他 傍陽小:そえひ保、いずみ幼他 菅平小:すがだいら保	幼 保	○今年度の活動と来年度の方向、児童の情報交換 ・1年生の児童の学校での様子を知っていただき、幼保時代の情報を伝えることができた。
7月1日・2日	真田中との交流	真田中(2年) さなだ保	保	○家庭科の保育実習の授業として、真田中2学年と3歳以上児で交流を行う。各年齢ごとの活動に参加。短時間であったが、幼児期の子ども達との関わりが持てた。
7月22日	交流活動(菅平小)	菅平小(1年) すがだいら保	保	○菅平小1年児童とすがだいら保育園年長児とが、お店屋さんごっこや鬼ごっこなどを通して交流を深めた。次の交流に向けて顔合わせができた。
8月2日	他校体験研修	長小、さなだ保育園	保	○二年次研修(異校種研修) さなだ保育園で教員二年目の職員が研修をさせていただいた。保育園の先生方が、子どもたちがいつでも楽しめるように工夫しているところや給食アレルギー対応におけるリスク管理の面等、多くのことを学ばせていただくことができた。
8月20日	小学校職員 保育体験研修	傍陽小、そえひ保	保	○保育体験と園児の様子観察 ・半日という短い時間ではあったが、保育体験をさせていただき、その中で、保育園の子どもに対する接し方等を学んだり、子どもたちの様子を知ったりすることができた。
9月9日	交流活動(菅平中)	菅平中(3年) すがだいら保	中	○中学生が園児に絵本の読み聞かせをしたり、運動会練習を一緒にしたりした。相手意識を高める学びができた。
10月3日～4日	音楽会・文化祭(菅平小・中)	菅平小・中	小 中	○音楽会は小中合同で開催、文化祭は一部小学校が参加して開催し、小中で協力して児童生徒が主体となって創りあげた全校行事となった。
10月22日	交流活動(傍陽小) (来入児保護者会時)	傍陽小(5年) そえひ保、いずみ幼、三好町保 来入児とその保護者	幼 保	○諸検査時の5年生との交流 ・検査待ち時間に、5年生が読み聞かせしたり、検査会場への案内をしたりして、来入児が安心して検査を受けられるようにした。
11月1日	交流活動(本原小) (来入児保護者会時)	本原小(1、5年) いずみ幼 さなだ保 他	幼 保	○諸検査時の5年生との交流 ・検査待ち時間に、5年生が折り紙や読み聞かせしたり、検査会場への案内をしたりして、来入児が安心して検査を受けられるようにした。

11月13日	交流活動(長小)	長小2年 さなだ保育園	保	○さなだ保育園に「あきまつり」の宣伝に行き、宣伝後は一緒に遊んで交流した。
11月20日	来入児保護者会① 来入児発達検査	長小 さなだ保育園、いずみ幼稚園、 上田北幼稚園来入児 来入児保護者	幼保	○来入児保護者会、来入児発達検査 保護者の方には小学校の様子や事務手続き等をお伝えし理解していただくことができた。来入児の検査児の様子や結果から来入児への理解を深めることができた。
11月19日	来入児保護者会① 入学前検査	菅平小 すがだいら保育園来入児 来入児保護者	保	○来入児保護者会、来入児の入学前検査 ・保護者には、小学校の様子や事務手続き等を伝え、理解していただくことができた。来入児の検査時の様子や結果から、来入児への理解を深めることができた。
11月25日	交流活動(長小)	長小2年 さなだ保育園	保	○景品や売り物を持参してさなだ保育園に行き、園児の皆さんを招待して「あきまつり」を楽しんだ。
12月2日	真田中学校小中連絡会①	長小、傍陽小、本原小 真田中	小中	○現6年生担任、特別支援学級担任等による情報交換 ○新1年生学級編制点の説明 ・個別の配慮を要する児童や、入学後に注視が必要な児童について、情報を共有できた。 ・次年度1年生学級編制の手順や留意点について、小中学校の職員の共通認識が図られた。
1月8日	県中スキー壮行会	菅平小・中	小中	○スキー大会壮行応援 ・県中スキー大会に参加をする中学生の選手を、スキー活動を行っている小学校4年生から6年生の児童と大会に参加をしない中学生で応援し、地元のスキー関係者の方々からも激励の言葉をいただいた。
1月17日	保護者会 (本原小)	本原小(1年) さなだ保 そえひ保	保	保護者会を実施。入学に向けての説明、物品の購入をおこなった。
1月17日	来入児保護者会② 体験入学	菅平小 すがだいら保育園来入児 来入児保護者	保	○来入児保護者会、来入児の体験(校舎案内と1年生との交流)、給食着・運動着の採寸
1月31日	全中スキー壮行会	菅平小・中	小中	○スキー大会壮行応援 ・全中スキー大会に参加をする中学生の選手を、スキー活動を行っている小学校4年生から6年生の児童と大会に参加をしない中学生で応援し、地元のスキー関係者の方々からも激励の言葉をいただいた。今年度はアルペン競技で3名、ジャンプ(コンバインド含む)競技で5名、クロスカントリースキー競技で1名の出場を決めた。
1月28日	来入児保護者会	傍陽小 来入児保護者	幼保	○来入児保護者会を実施。入学に向けての説明を行った。
2月6日	真田中学校小中連絡会②	長小、傍陽小、本原小 真田中	小中	○次年度新1年生学級編制の結果確認と個別の情報交換 ・中学校で行った学級編制の結果を小学校に確認してもらうことで、中学校では捉えにくい児童の実態を新入生の学級編制に反映させることができた。
2月14日	真田中学校 中学校体験授業 新入生説明会	長小、傍陽小、本原小 真田中	小中	○次年度新入学する6年生及び保護者による中学校の授業参観と中学校説明会 ・中学校での授業の様子、学校運営や授業、生活についての説明や質疑を通して、今何が行われ、どの方向に進もうとしているのかを保護者に理解していただくと共に、4月からのスタートを円滑に行えるように中学生に直接質問することで、共通理解ができた。

2月14日	中学校説明会	菅平小・中	小 中	○次年度新入学する6年生及び保護者への中学校説明会 ・中学校での授業の様子、学校運営や授業、生活についての説明や質疑を通して、今何が行われ、どの方向に進もうとしているのかを保護者に理解していただき、4月からのスタートを円滑に行えるように配慮した。
2月17日	来入児交流(本原小)	本原小(1年) さなだ保 いずみ幼	幼 保	○1年生と園の年長さんと『なかよし交流会』を行った。 年長さんを小学校に招待して、勉強のことを教えたり、学校を案内したり、あさがおの種をプレゼントしたりした。
2月19日	来入児保護者会 交流活動(長小)	長小(1年) さなだ保育園、いずみ幼稚園、 上田北幼稚園来入児 来入児保護者	幼 保	○「1年生による学校案内」 ○「1年生と学習体験」 ○入学式までの準備、入学式のこと、入学後の生活について、保険についての説明w0した。
1月10日 2月25日 2月17日 1月30日	幼保小連絡会②	菅平小:すがだいら保 長小:さなだ保、いずみ幼他 傍陽小:そえひ保、いずみ幼他 本原小:さなだ保、いずみ幼他	幼 保	○今年度の活動反省と来年度の日程等の確認、入学式の打ち合わせ、児童の情報交換 ・新入生の円滑な受け入れのための情報交換等を実施。

令和6年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名	依田窪南部中学校区
-------	-----------

時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容	成 果
8月21日	保育園研修	依田窪南部中 武石小 武石保	中	普段接する中学生と異なる年齢の子どもと接することで、生徒たちの発達段階の姿やそれに応じた対応などを研修することができた。
			小	小学校入学前の園児の様子を参観するとともに、武石地域の子ども達の発達段階に応じた園での対応を知る機会となった。来入児の就学前担当と入学にむけて、小学校でも情報共有することができた。
7月31日	来入児参観	武石小職員 武石保	小	小学校来入児担当と教頭、特別支援教育コーディネーターが武石保育園を訪問し、年長児クラスの参観をした。年長児についての情報は後日会議を行った。また支援の必要な子どもについては随時情報交換をし、移行支援会議を行った。入学前に準備ができありがたい。
			幼保	普段の子どもの様子や支援の必要な子どもを見てもらうことにより、小学校職員の理解が深まり、安心してスムーズに小学校生活へ以降できそうである。
7月3日,10日	プール開放	武石小 武石保	保	小学校のプールを借りて水遊びを楽しむことができた。広く大きなプールで子どもたちは自信をつけ楽しく泳ぎ、小学校への期待を膨らませることができた。
6月14日 10月30日 1月30日	音楽会 前半参加 発達検査時の交流 1日入学	武石小全校 2年生 5年生 来入児全員	小	来年度入学する子どもたちと親しみ、迎える心の準備をしたり、優しく親切に接したりすることができた。相手を思いやり、自分はどんな風にしてあげられるか考え、行動に移すことができる、という目的を十分達成することができた。5年生は来年度になったら、姉妹学級として関わりがあるため、一人ひとりが担当する園児に優しく接する姿が見られた。
			保	学校を案内してもらったり、体育館でゲームをしたり、安心と学校に対する親しみを持つことができた。2年生と5年生と接し、楽しく遊ぶことができた。
11月1日	焼き芋会	武石小1年生,2年生 武石保年長児	小	1,2年生が育てたサツマイモを焼き芋にするように濡れ新聞紙、アルミホイルで包むなどして用意した。焼き芋が焼けるのを待つ間のゲームを2年生が考えたり、贈り物にもなる折り紙の首飾りを作ったりして準備した。焼きいもができると、ペアの年長児に焼き芋を渡したり、剥いてあげたりなどして、優しく接していた。1,2年生の成長が感じられる交流だった。
			保	1,2年生が焼いもの準備をしてくれて、園児は、焼けるのを待つ間に、校庭でゲームをして楽しくかわりあうことができた。ペアの子どもと一緒に焼き芋を食べたり、話をしたりして交流した。双方、実りのある交流だった。
7月16日～18日	職場体験学習	依田窪南部中 武石小 武石保		中学2年生が保育園と小学校で職場体験をした。